

平成 26 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

市 民 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
(一般質問・予算審査特別委員会) 吉岡議員、倉本委員 ・乳幼児等医療費についての自己負担額無料化の更なる対象拡大の検討について (予算審査特別委員会) 土井委員 ・狂犬病予防注射の未接種への対応強化について	・近隣市町の実施状況を参考にするとともに、財政状況を勘案しながら取り組んでいきたい。 ・予防注射通知書等において未接種の場合「法律で罰せられる」ことを周知し、予防注射の接種率向上に努める。	・H26 からの事業実施状況確認 ・他市町村の実施状況調査 ・例年 4 月中旬に、飼い主宛て送付する「予防注射通知書」のほか、未接種者に対し、再度接種のお知らせを行う際の文書に「法律で罰則」があることを加えるとともに、広報紙や市の HP でも予防注射の接種案内に合わせ、未接種の場合、法律で罰則規定があることを周知する。

平成 26 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

保 健 福 祉 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
1. 保育所施設の再編について、ニーズに合った検討をしてほしい (一般：吉岡議員)	・平成 27 年度までに検討して参りたいと考えております。	・4 月以降のワーキンググループ会議で検討する。
2. 緊急通報装置、白老では携帯電話で利用者の異変を察して繋げる装置が導入されているが、必要ではないか (一般：小関議員)	・現在のは、H23&24 で更新、次回の導入時検討し、より良いものを選定したい。	・耐用年数は 7 年であり、H30 前に検討する。
3. 「健康マイレージ事業」や「ヘルプカード」の導入をおこなってはどうか (一般：本郷議員)	・「健康診断や、スポーツ活動の参加でポイントをたことや」、「緊急時の連絡先や支援内容記載したカードを身に着けることで緊急時の対応可可能」など、他の導入している自治体を参考に調査研究していきたい。	・道内ではないので、東京都の区や他県で導入しており、導入時の経過や、その後の効果、問題点等お聞きする。
4. 子宮頸がんワクチンの被害者へ、温かい手を差し伸べるべきではないか。	・他市で、独自で救済制度を設けているところもあり、検討して参りたい。	・集団接種では設けている自治体はないが、早急に調査&検討をする。
5. 接種後の健康調査、実施している自治体あるが、本市はしないのか (一般：谷村議員)	・実施している自治体を調査し、検討して参りたい。	・東京の鎌倉市や大和市等に電話し、実施した内容を、現在頂くこととして、その後、調査していく。 実施時期は、5 月末から 6 月頃を予定している。

平成 26 年第 1 回市議会定会における主な課題対応

経済部

No.1

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
① HCC 施設（普通財産）の転用を含めた今後の考え方について （予特：丸山委員）	法人組織のあり方など学校運営に関わる重要な事項は、コンピュータ・カレッジを運営する職業訓練法人 美唄情報開発学園の総会での議決事項となっていることから、この総会において、学校としての最終判断をするとの答弁	本年 5 月の美唄情報開発学園の総会において法人組織のあり方について決定する予定。
② 商店街活性化支援事業で実施する買物バスの運行に当って、他の交通機関への影響（予特：丸山委員）	バスの運行に際しては、市民バスなど、他の交通機関に影響しないよう事業主体となるサロン運営協議会及び商工会議所等と協議していくとの答弁。	4 月以降、庁内関係課、商工会議所及び協議会と協議することとしている。
③ ふれあいサロンの掲示物の考え方について （予特：倉本委員）	サロンについては、補助金を出していることから、行政では制限されている政治、宗教等、掲示物などについては、今後、掲示物の線引きについて協議会と協議していくとの答弁。	4 月以降、掲載基準を策定する。
④ 雪んこ祭りで実施している「働く車」で自衛隊ミサイル車を PR しているが、趣旨が違うのではないか。 （予特：倉本委員）	自衛隊は、これまで種々地域貢献をしてきており、自衛隊ミサイル車は自衛隊の国防・啓蒙活動の一環として PR している。自衛隊ミサイル車を PR することに関して、市民の声は、実行委員会に伝えたいとの答弁。	議会終了後、実行委員会に伝えた。

平成 26 年第 1 回市議会定会における主な課題対応

経済部

No.2

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
⑤ 空知団地の分譲価格について（予特：倉本委員）	分譲価格の設定については、購入価格に、売れるまでの維持管理経費を一定期間分、上乗せすることを考えているが、今後、分譲価格については、美唄と同様の条件で土地を購入した奈井江町とも十分協議し決定していきたいとの答弁。	奈井江町と協議するほか、中小機構の意見 4 月以降、庁内関係課、商工会議所及び協議会と協議することとしている。
⑥ ジオパーク構想について（予特：森川委員）	以前に検討した経過があるが、三笠市を例に、今後、調査・研究に努めたいとの答弁。	4 月以降、三笠市の構想策定に至る取り組みについて聞き取り調査する。
⑦ 精神障害者が能力を最大限に発揮し、雇用の場を確保していくために、市として、今後、どのような取組みを考えているのか。（丸山議員：一般質問）	就職に向けての相談、職業能力等の評価、就職前の支援から就職後の職場適応のための援助など、障がい者の就労支援を総合的に行う北海道障害者職業センターやハローワークなどとの連携により、個々の障がい者の状況に応じた情報の提供に努めるとともに、事業主に対しては、障害者の雇用管理に関するさまざまな制度の周知を図るなど、行政と支援機関が一体となった雇用施策を推進していくとの答弁。	左記の内容に沿った対応を行う。
⑧ ゆ〜りん館のサウナ室にテレビをつけてほしいと、市民からの要望が多いが、早い段階でつけることができないか。（土井議員：一般質問）	サウナ室テレビの設置について、利用者からの要望が多いことを踏まえ、建物の構造や技術面及び費用面を整理し、設置に向け検討していくとの答弁。	課題の整理後、必要予算を確保し設置することとする。

平成26年第1回市議会定会における主な課題対応

経済部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
・6次産業化へ向けた加工施設についてどの様に考えているか。(一般質問・小関議員)	・本市農業の発展には新たな取組や対策が必要であり、製粉施設はその一つになる可能性もあることから農協や関係者と協議検討していく。	・4月以降、道内・外の製粉実績や利活用の現状、動向を把握し、農協や関係者と意見交換を行う。
・担い手対策に向けて、青年就農給付金の活用促進やどのような展開を行っていくのか。また、水田フル活用ビジョンにも積極的な取り組みが必要ではないか。(一般質問・小関議員)	・基金による支援を行うほか、青年就農給付金については、説明会などで制度周知を図っていく。ビジョン策定は振興作物や地域特性が活かされたものとしたい。	・4月以降、人・農地プラン更新に係る地域懇談会などで青年就農給付金の説明を行い、新たな対策や各種制度の周知を図っていく。ビジョンは再生協議会幹事会の協議の中で市の意見を伝えていく。
・TPPの動向について非常に危険性を感じており、国に対してこうした動きを止めるよう再度強く要望してほしい。(一般質問・長谷川議員)	・国の動向を注視し、関係団体などとともにしっかり対応していく。	・TPP交渉の動向も含め情報を収集し、関係団体等と必要に応じ対応していく。

平成 26 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

都市整備部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
○町内会の街路灯をLED灯などの省エネ街路灯に替えることで、電気料金が縮減され維持管理費がどの程度削減されるのか、今後、維持管理費の縮減に向けどのような取り組みでいくのか伺う。 (一般質問：小関議員)	蛍光灯40ワットをLED灯20ワット相当に替えて試算すると、町内会などの管理分で年間約950万円の電気料金の削減となります。省エネ街路灯への取り替えには初期投資が必要であるが、長期的に見た場合、維持管理費の縮減に繋がることから、今後、町内会などの要望を踏まえながら計画的に取り組んで行きたい。	省エネ街路灯への取り替え計画についてのアンケートを行うなど、住民要望を調査し、維持管理費の縮減に向けた計画的な取り組みについて検討を行う。
○民間住宅のバリアフリー改修促進助成事業について、利用状況と今後の市民周知の考えを伺う。 (一般質問：土井議員)	本制度については、平成20年度から実施しており現在までに、269件、4,728万5千円を助成している。今後は、老人団体や市の主要な施設へ資料配布するなど市民周知に努める。	・現在の制度を継続する。 ・メロディ掲載回数増加 2回→4回 ・制度の概要版を、市内の各地域福祉会館へ掲示していただく。 ・総合福祉センター、すまいる等主要な施設へパンフレットを配布する。

平成26年第1回市議会定例会における主な課題と対応

教育委員会

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
教材等の購入に関して市内での購入の比率を高めるよう対策を講ずるべき。 (一般質問：吉岡議員)	教材等の発注については、学校配当予算の範囲で、学校の自主性や裁量を認めつつも、市内での購入を基本とするよう、管理職にとどまらず、担当の教職員にも周知徹底する。	3月 各学校への配当予算に関する事前説明の際に周知 4月 文書により全教職員に周知徹底
南美唄地区の放課後児童施設は、校地外にあり、徒歩で移動しなければならない、交通事故などの危険が伴う。南美唄小の空き教室を活用して施設を開設することができないか。 (一般質問：吉岡議員)	空き教室の活用に関して、学校との協議や保護者への意向確認のほか、指導員配置の見直しなども必要となるので、これらの課題の解決に向け、具体的に検討していく。	H26 ・活用できる教室の確認 ・保護者の意向確認 ・指導員配置の見直し (コミセン兼務から専任に) H27～ ・施設の移設